委員長メッセージ　第11期前半年7月号

＝　焦らず･怠らず、最後まで走り抜く　＝

５月21日土曜日の昼、出張で岡山から神戸に向かう新幹線の中で、同期の友人からLINEが入った。お世話になった先輩たちと焼き肉を前に楽しく缶ビールや酎ハイを傾ける姿が送られてきた。みんな集まって飲め出したんだな～と思いつつ、新神戸駅に到着後、なつかしさから電話を入れた。当然の成り行きで、かわるがわる電話に出、「元気しよるか」、「選挙は任しとけ、お前が推す人なら間違いない」、「ケンちゃんがんばれよ」、口々に励ましてくれる。昼からの一献、うらやましいやら、うれしいやら、なんか熱いものがこみ上げてきた。

20代のころ、産業・企業の課題や労働運動等を自主的に学び、次代のリーダーを育成する場として労使で労働学校というものを開設していた。その事務局を担当した幅広い年齢の仲間たちである。

その中の最年少者が、前出のLINEをくれたＹ坂という同期。落語の枕に「俺も今年55、もうあんちゃんに追いついたにちげねー。ありゃ、あんちゃんは、やっぱ５つ上の60か(笑)」なんてのを聞いたことがある。

60過ぎても先輩の年には追いつけず、一番の末っ子。私の分までお世話をしてくれている。いつもありがたい。単身赴任を卒業したら次は俺がやる…、いや、お酒を飲まないＹ坂に、当面、おんぶに、だっこがつづくんだろう、すんません。

そんな友人のことを時に連れともいう。ネットで調べてみると「連れ合い」という言葉、その意味合いは、「行動を共にする人」を指す。パートナーや配偶者、という意味が主流らしいが、男女で使い分けることはなく、男性同士でも女性同士でも行動を共にしている場合は連れ合いで良いと。一緒に来た人を指し「私の連れが来ているだろう」など、略して「連れ」なのである。

委員長メッセージの発信は、特段のことがない限り月初め。７月１日からは全国安全週間が始まる。今年のスローガンはすでにご承知の通り、「安全は　急がず　焦らず　怠らず」。なんと史上まれにみる早さで梅雨明けが宣言されたが、蒸し暑さは続いており、近年耳にすることが多くなった線状降水帯による甚大な豪雨災害が発生する時期でもある。仕事や日常生活でも熱中症防止に努めること、豪雨災害への危機管理も忘れまい、「わが身を守り、家族を守り、仲間を守る。そして働く職場を守る」ために。

妻や夫というパートナー、愛しい人、心通わす友人など、決して連れを悲しませることがあってはならない。日ごろの心がけといざという時の行動が大事。覚えているだろうか、「備えよ天災・起こすな人災」、以前紹介した福岡・折尾の町で見つけた看板。自らに置き換えて・・・備えを怠りなきように。

そして今一つ、私たちの決戦日、７月10日まで残すところ10日間。でも、焦ることはない。この１年と半年、戦略・戦術を立て、年単位、月単位、旬単位で取り組みを精査し、一つひとつ目的を明確にして事を進めてきた。

慌てるのではなく、残された時間を確実に、着実にやり遂げる。計画通りに、時を有効に使い、ギリギリまで、頼みにしている組合員と、その連れ合いに、手に手を取って投票に行ってもらうこと。

悔しい、沈んだ空気をみんなで変えようと誓い合ってきたはず。夢や希望、ひとり一人の幸せを追求し続けるのが労働運動。

辛い雨にも、厳しい逆風にも負けず、歩き続ける私たちの小さな代表とともに、雨上がりの空に、みんなの幸せと笑顔につなげる虹の架け橋をつくろう。

あと少しの時間を大切に、悔いのない取り組みに。全身全霊をかけて私も走り抜く。

ご安全に

2022年７月１日

日本基幹産業労働組合連合会
中央執行委員長　神田 健一